

レミケード®治療の記録

— 強直性脊椎炎の患者さんへ —

レミケード®の投与を受けた日・回数と体調の変化を記録しましょう。

レミケード®の投与後は十分な経過観察を行う必要があります。

定期的に診察や検査を受けるとともに、記録をつけ、受診の際にこのシートを担当医師に提示してください。

- レミケード®を投与すると、下記のような副作用があらわれることがあります。
- もしもこのような症状があらわれたときは、日付と症状を記録しておきましょう。
副作用の記録は、治療を安全に行う上で大切な情報です。

主な副作用

頭痛、吐き気、めまい、かゆみ、発熱、体がだるい、発疹、胸の痛み、息苦しい、筋肉や関節などの痛み

感染症

発熱、のどの痛み、せき、たん、口内炎、発疹、水ぶくれ、尿の回数が増える、尿がにごる、排尿時の痛み

投与した数日後に

発疹、急な発熱、じんましん、激しい頭痛、手や顔のむくみ

記入例

日付	レミケード®の投与回数	体調の変化	次回診察日
1月6日	1回目		月 日
1月20日	2回目	軽い頭痛があったが、すぐにおさまった	月 日
2月17日	3回目		月 日

レミケード®を投与した日は、日付と何回目の投与かを記録

体調の変化を感じたときは、症状を記録

受診日と体調のチェック

受診日と体調のチェック

受診日と体調のチェック